



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年8月14日

東

上場会社名 株式会社ソフィアホールディングス 上場取引所
 コード番号 6942 URL <https://www.sophia.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 秀毅
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小山田 智 TEL 03-6381-5405
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,149	8.5	66	160.2	59	167.1	11	13.7	11	13.7	11	17.7
2026年3月期第1四半期	1,980	△4.3	25	△89.4	22	△90.5	9	△86.9	9	△86.9	9	△87.5
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2027年3月期第1四半期	2.39		—									
2026年3月期第1四半期	2.10		—									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,100	3,005	3,005	42.3
2026年3月期	7,220	2,994	2,994	41.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,928	7.2	159	—	128	—	7	—	7	1.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	4,677,720株	2026年3月期	4,677,720株
2027年3月期1Q	49,050株	2026年3月期	49,050株
2027年3月期1Q	4,628,670株	2026年3月期1Q	4,628,680株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(要約四半期連結損益計算書)	5
(要約四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(要約四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報)	7
(親会社の所有者に帰属する持分に著しい変動があった場合の注記)	9
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかに回復しているものの、継続する物価上昇の個人消費への影響や金利・為替の変動、米国の通商政策に加え、中東情勢を含む国際情勢の不安定等の影響もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動を展開するインターネット関連事業及び通信事業におきましては、企業の競争力強化や業務効率化を目的としたDX(デジタル・トランスフォーメーション)推進の動きが加速していることにより、ICT(情報通信技術)への投資需要は引き続き高い状態にあります。また、調剤薬局及びその周辺事業におきましては、薬価改定・調剤報酬改定による影響もあり、業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績としましては、売上収益が2,149百万円(前年同四半期比8.5%増)となりました。利益面におきましては、営業利益66百万円(前年同四半期比160.2%増)、税引前四半期利益59百万円(前年同四半期比167.1%増)、四半期利益11百万円(前年同四半期比13.7%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益11百万円(前年同四半期比13.7%増)、四半期包括利益合計額11百万円(前年同四半期比17.7%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントに含まれていない「その他」の区分を削除しています。詳細については、P.7「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)(3) 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

売上収益は、企業のデジタル変革(DX)への取り組みなどを背景に、ITエンジニアの需要が高まっていることを受けシステムエンジニアリングサービス事業(SESS事業)が順調に推移しました。また、前期における子会社1社取得の影響を受けた結果、売上収益は376百万円(前年同四半期比42.0%増)、セグメント利益は14百万円(前年同四半期比69.9%増)となりました。

[通信事業]

MVNO(※1)事業は競業他社との競争激化の影響を受けることとなりましたが、売上収益は58百万円(前年同四半期比11.8%増)、セグメント利益は6百万円(前年同四半期比71.2%増)となりました。

[調剤薬局及びその周辺事業]

売上収益は、調剤報酬の改定、薬価改定による影響を受けることとなりましたが、処方箋枚数の増加を受け前年同四半期比で増収となりました。利益面では、上記の売上増と合わせて販売管理費の圧縮努力により増益となり、その結果、売上収益は1,721百万円(前年同四半期比2.7%増)、セグメント利益は154百万円(前年同四半期比23.1%増)となりました。なお、当第1四半期連結会計期間の末日において当社グループにおける調剤薬局総数は60店舗となります。

(※1) Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ120百万円減少し、7,100百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ131百万円減少し、4,094百万円となりました。これは主として、借入金の減少によるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分合計は前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、3,005百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました予想と変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,145,172	2,052,486
営業債権及びその他の債権	1,295,969	1,288,479
棚卸資産	483,687	495,444
未収法人所得税	87,859	88,514
その他の金融資産	97	43
その他の流動資産	16,289	26,456
流動資産合計	4,029,075	3,951,424
非流動資産		
有形固定資産	350,277	346,846
使用権資産	530,743	506,650
のれん	1,838,419	1,838,419
無形資産	12,166	10,536
その他の金融資産	153,709	152,178
繰延税金資産	278,566	268,927
その他の非流動資産	27,638	25,344
非流動資産合計	3,191,521	3,148,902
資産合計	7,220,596	7,100,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,881,564	1,890,027
借入金	479,960	468,810
リース負債	127,391	122,889
未払法人所得税	20,463	41,544
引当金	57,456	57,417
その他の金融負債	20	12
その他の流動負債	86,969	88,175
流動負債合計	2,653,826	2,668,877
非流動負債		
借入金	880,536	763,242
リース負債	603,159	574,179
引当金	66,845	66,964
その他の金融負債	9,756	9,586
繰延税金負債	80	80
その他の非流動負債	12,062	12,016
非流動負債合計	1,572,440	1,426,069
負債合計	4,226,266	4,094,947
資本		
資本金	2,065,855	2,065,855
資本剰余金	11,621	11,621
利益剰余金	979,129	990,179
自己株式	△62,276	△62,276
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,994,329	3,005,379
資本合計	2,994,329	3,005,379
負債及び資本合計	7,220,596	7,100,326

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	1,980,833	2,149,838
売上原価	1,264,086	1,394,589
売上総利益	716,746	755,248
販売費及び一般管理費	695,074	693,749
その他の収益	3,900	5,117
その他の費用	10	99
営業利益	25,561	66,517
金融収益	2,930	11
金融費用	6,241	7,092
税引前四半期利益	22,251	59,436
法人所得税費用	12,533	48,386
四半期利益	9,717	11,049
四半期利益の帰属 親会社の所有者	9,717	11,049
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	2.10	2.39

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	9,717	11,049
その他の包括利益		
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△332	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△332	—
税引後その他の包括利益	△332	—
四半期包括利益	9,385	11,049
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,385	11,049
四半期包括利益	9,385	11,049

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(要約四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に基づき、国際会計基準第34号「期中財務報告」の開示を一部省略している。)に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは持株会社体制の下、各事業会社が各々の事業活動を行っており、当社はグループの経営戦略の策定やグループ管理を行っております。従って、当社グループは、各事業子会社を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「インターネット関連事業」、「通信事業」、「調剤薬局及びその周辺事業」の3つを報告セグメントとしております。

「インターネット関連事業」は、インターネット関連のシステム開発業務、サービスの提供及びシステムエンジニアリングの派遣サービスの提供等を行っております。なお、前第3四半期連結会計期間において、当社連結子会社であるソフィア総合研究所株式会社が、株式会社セキュリティーエージェントを子会社化したことに伴い、同社を「インターネット関連事業」に区分して開示しております。

「通信事業」は、MVNOを中心とした情報通信サービスを行っております。

「調剤薬局及びその周辺事業」は、主に調剤薬局の運営を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。

なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「その他」に含まれていた株式会社ソフィアグローバルワークス及びSOPHIA SG MANAGEMENT PTE. LTD. の全株式をそれぞれ譲渡したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「その他」の区分を廃止しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	インター ネット関連 事業	通信事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計				
売上収益								
外部収益	263,212	44,061	1,673,459	1,980,733	100	1,980,833	—	1,980,833
セグメント間 収益	1,622	8,327	2,100	12,050	—	12,050	△12,050	—
合計	264,834	52,389	1,675,559	1,992,783	100	1,992,883	△12,050	1,980,833
セグメント利益 又は損失(△) (注) 3	8,575	3,795	125,272	137,643	△6,291	131,351	△105,789	25,561
金融収益								2,930
金融費用								6,241
税引前四半期利益								22,251
その他項目								
減価償却費 及び償却費	56	172	31,318	31,546	—	31,546	122	31,669

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材紹介業を含んでおります。

(注) 2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
- (2) 減価償却費及び償却費の調整額は、各報告セグメントに配賦されていない全社資産及び内部取引消去に係る減価償却費及び償却費であります。

(注) 3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注) 4. セグメント資産及び負債の金額は、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結
	インターネット 関連事業	通信事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計			
売上収益							
外部収益	373,642	56,864	1,719,331	2,149,838	2,149,838	—	2,149,838
セグメント間 収益	2,525	1,683	2,100	6,308	6,308	△6,308	—
合計	376,167	58,547	1,721,431	2,156,147	2,156,147	△6,308	2,149,838
セグメント利益 (注) 2	14,571	6,498	154,195	175,265	175,265	△108,748	66,517
金融収益							11
金融費用							7,092
税引前四半期利益							59,436
その他項目							
減価償却費 及び償却費	—	144	28,242	28,387	28,387	4,518	32,905

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(2) 減価償却費及び償却費の調整額は、各報告セグメントに配賦されていない全社資産及び内部取引消去に係る減価償却費及び償却費であります。

(注) 2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注) 3. セグメント資産及び負債の金額は、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため記載しておりません。

(親会社の所有者に帰属する持分に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費及び償却費	31,669	32,905

(重要な後発事象)

該当事項はありません。